

2026年熊本地震　活動報告

川崎医科大学総合医療センター
鼠尾　弘恵

活動チーム概要

コーディネーターチーム派遣（個人）

コーディネーターチーム要請　２次隊



活動期間

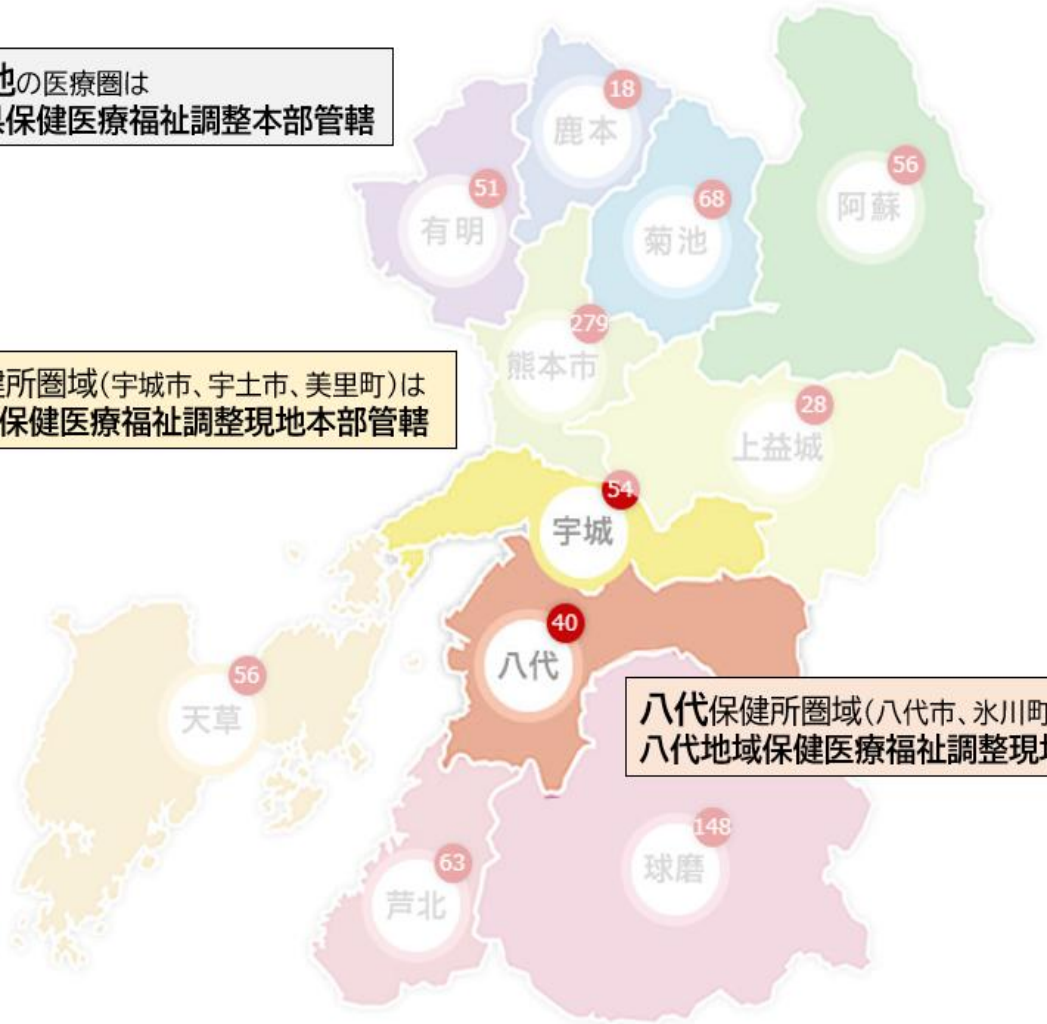
2026年8月3日（月）→→→ 8月10日（火）





活動場所

その他の医療圏は
熊本県保健医療福祉調整本部管轄



宇城保健所圏域(宇城市、宇土市、美里町)は
宇城地域保健医療福祉調整現地本部管轄

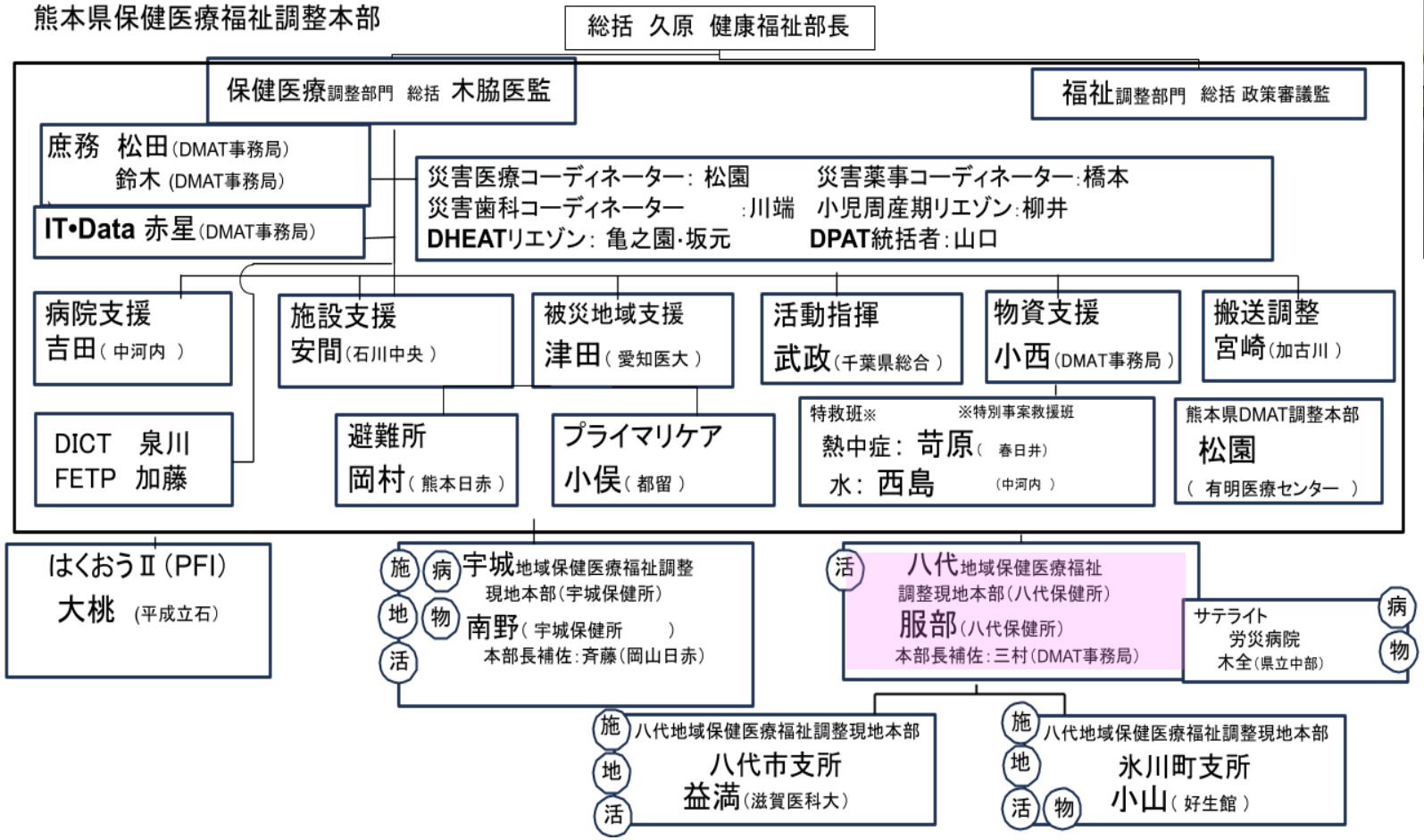
八代保健所圏域(八代市、氷川町)は
八代地域保健医療福祉調整現地本部管轄

周辺のインフラ

＜熊本市内＞
- 九州新幹線は1日何本か熊本まで開通
- 電気、水、通信、通常通り
- 飲食店、コンビニ、スーパー通常通り
- 道路もほぼ開通

＜八代市＞
- 電気、通信は開通
- 水は断水中、一部上水道開通
- 店、コンビニは一部昼のみ小規模に
  開店しているとこともあり
- ガソリンスタンドやっていない
- ホテル　運休　素泊まりのみ何軒か
  温泉施設　宿泊のみで何軒か開けている
- 高速　緊急車両のみ

CSCA(Command)

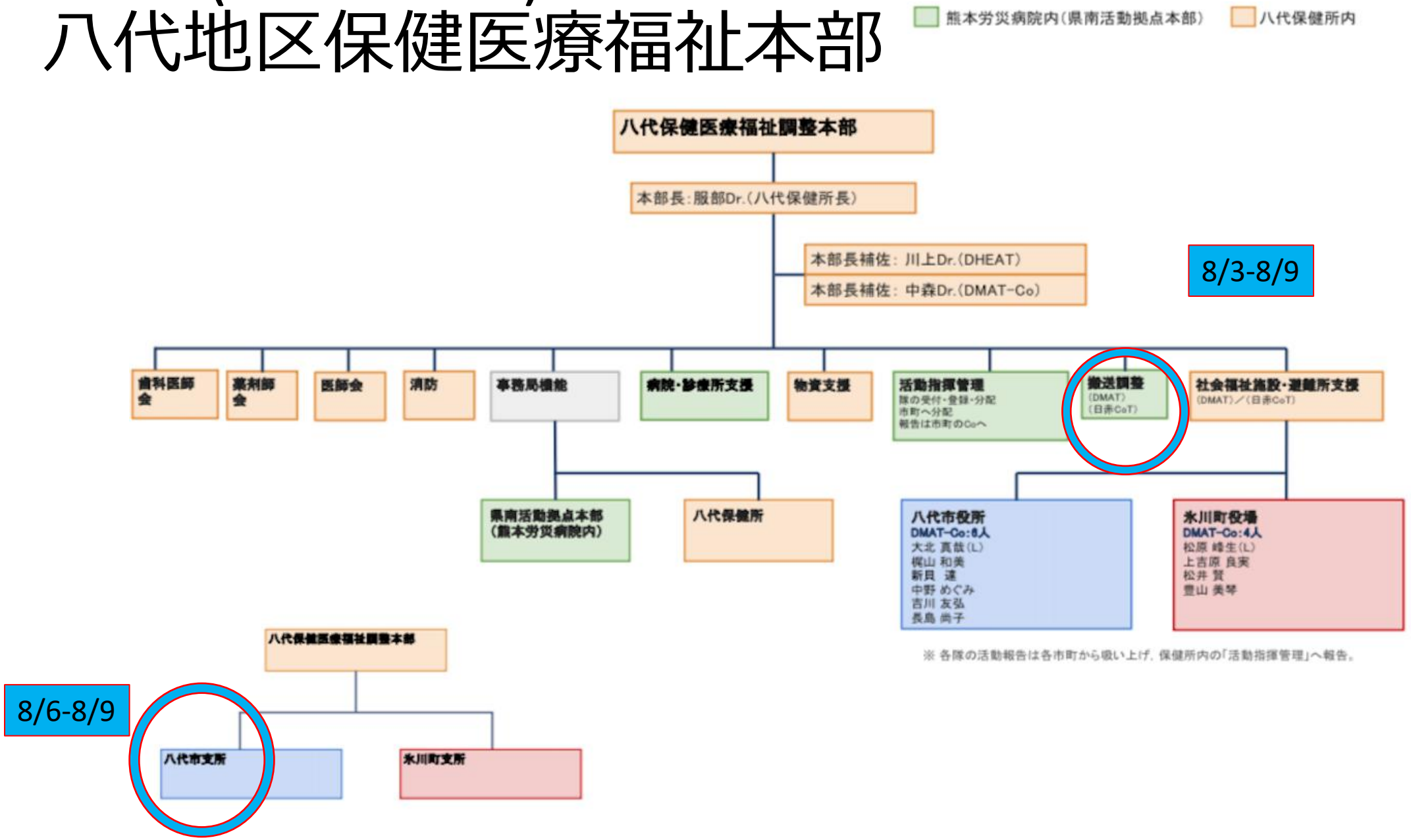


8/3 13:00
熊本県保健医療福祉本部
到着

15:30
八代地域保健医療福祉本部
到着（八代保健所内）

搬送調整を任命
熊本労災病院へ移動

CSCA (Command)
八代地区保健医療福祉本部



CSCA(Safety)







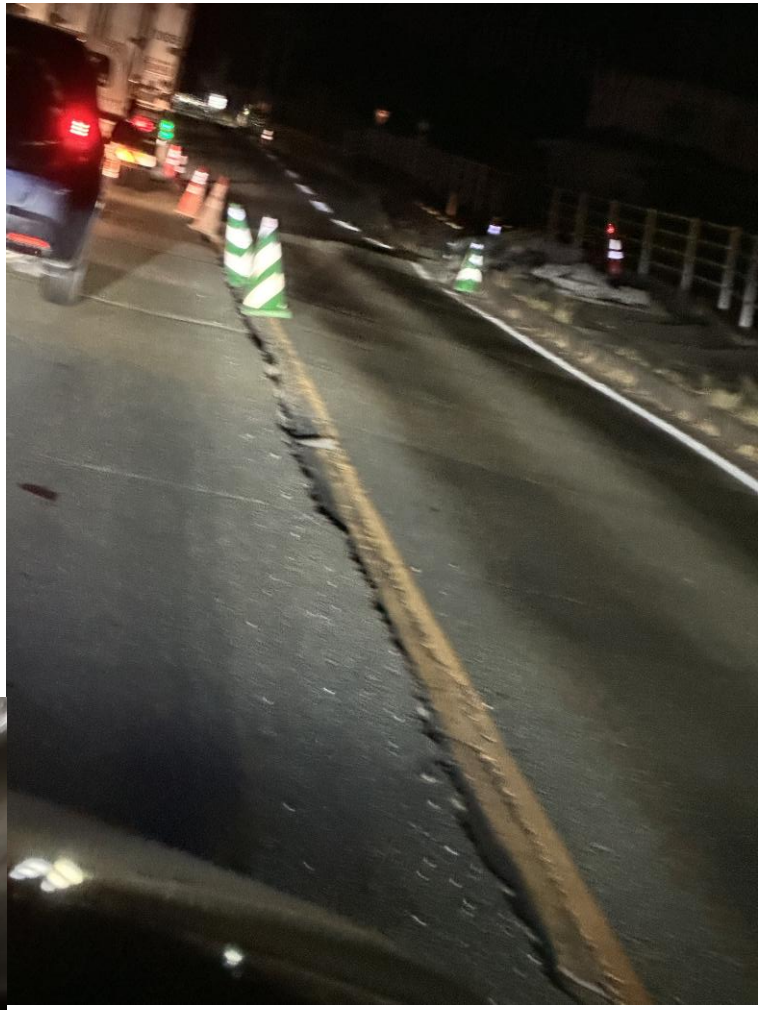


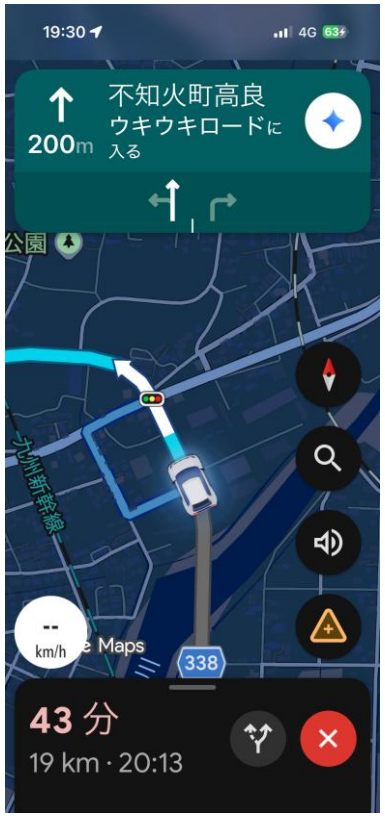














熊本市→八代市へのアクセスは危険が多い

橋の繋ぎ目は段差
渋滞で橋の上で余震
竹藪火災（２号線通行止め）
14号線が一番開通
墓石ロードは夜間は危険

熊本のお墓は大きい!



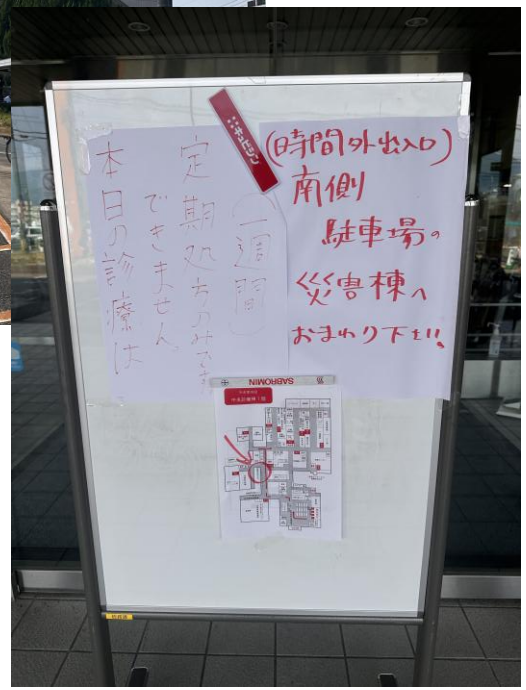
片道
２時間から
２時間半要す





熊本労災病院





発災後より
熊本労災病院内に
県南DMAT活動拠点本部
↓
8/2
八代地区保健医療福祉本部
↓
8/3より本部機能を八代保健所へ引っ越し

病院支援・物資支援・
診療所、在宅支援・搬送調整のみ熊本労災病院内に残存

活動内容１:八代地区保健医療福祉本部
搬送調整

熊本労災病院内、残存班







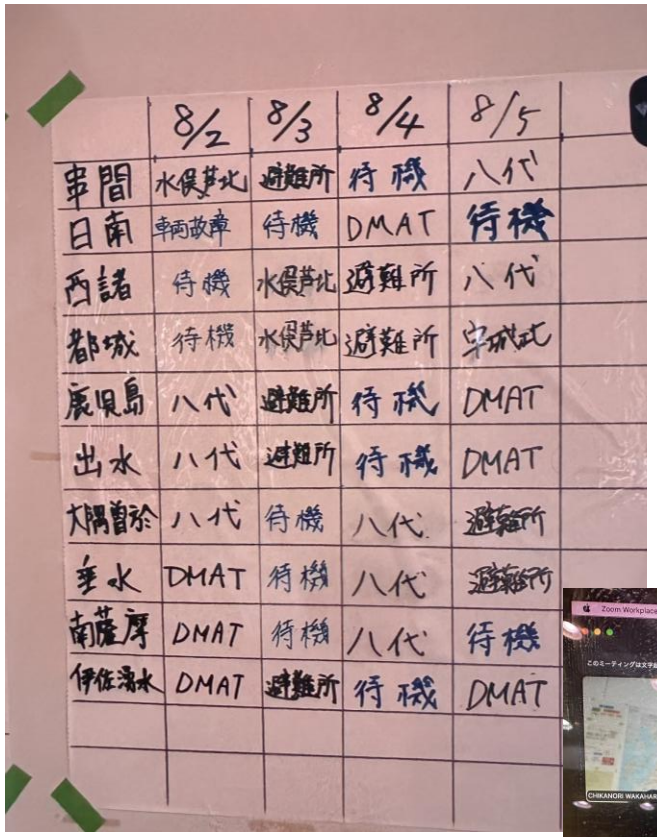


8/3　16:00～
本部ミーティング
搬送調整班の
引き継ぎ
8/4
８名→１名
(Co+帯同者 +参D→Co)





搬送調整







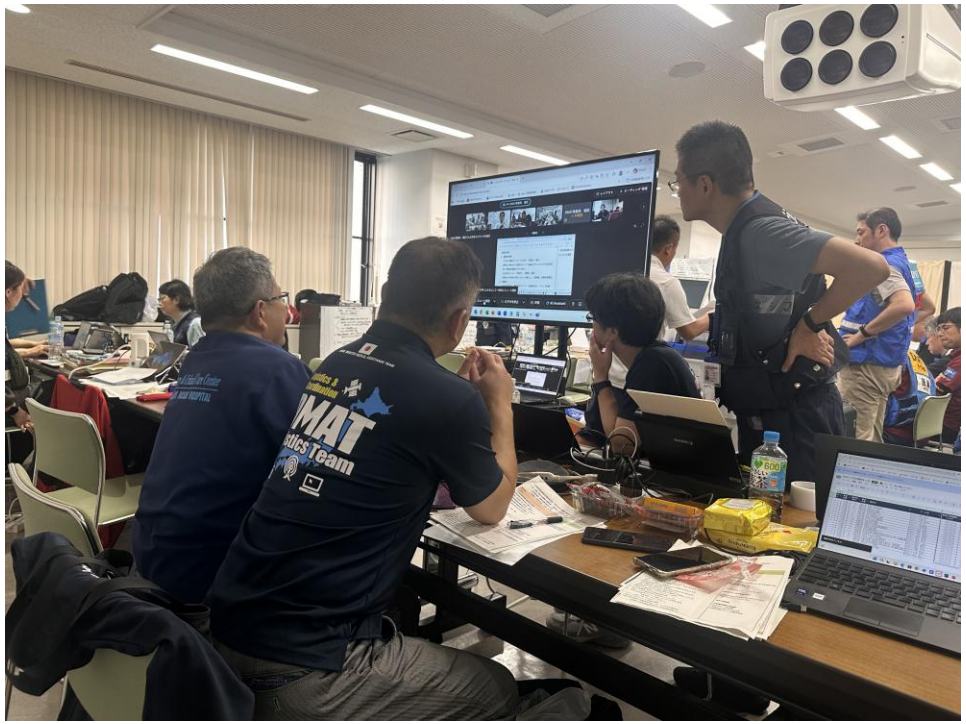
- 緊急消防援助隊：１０隊
- 病院指揮所
  - 熊本労災病院：３隊駐機
  - ＪCHO熊本総合病院
  - 八代北部地域医療センター

  指揮所を経由し搬送調整
  緊消隊とは指定携帯で連絡交信

- 機能班ミーティング：ZOOM
  →搬送調整機能を県庁へ移行
- 本部ミーティング
  県庁ミーティング：八代保健所

- 現状と分析、クロノロジー

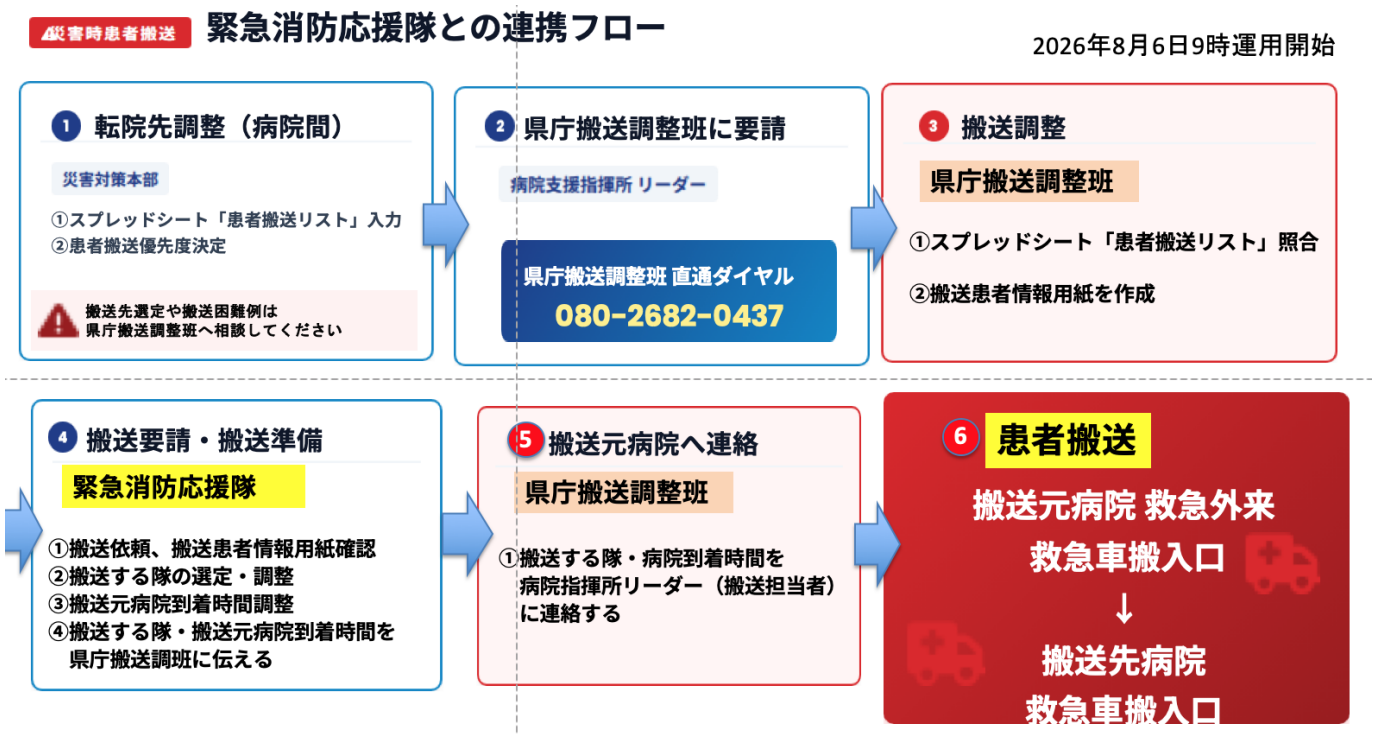
本部ミーティング：八代保健所内
県庁ミーティング







8/6 JCHO熊本病院より３６名の搬送依頼が入る
→病院へ調査、調整
転院先の病院や施設の機能回復の見込みがないための要請。
最終的には６名の緊急搬送調整
くだり搬送は災害救助法の適応外



・緊消隊の連携フローを作成

8/6から県庁での搬送調整へ移行し運用開始

→緊消隊は地元救急車搬送支援として活動

→並行して撤収作業

・八代地区保健医療福祉本部（県南）7/28～8/8

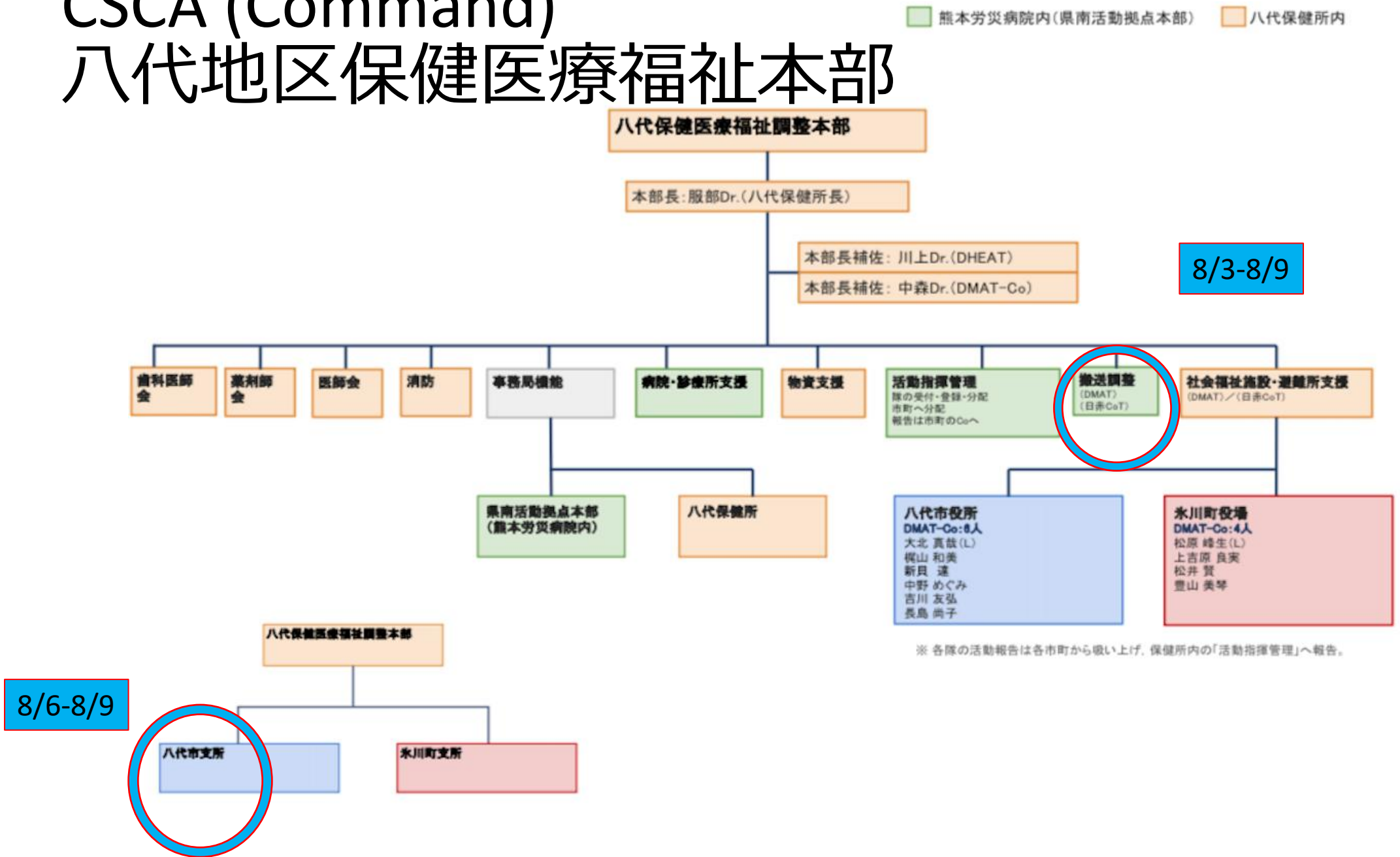
搬送実績：合計360件（空路72、陸路258）

県南活動拠点本部 搬送数

		7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3	8/4
熊本労災病院	陸路	0	9	29	6	4	2	1	2
	ヘリ	0	0	7	6	2	2	0	0
	合計	**0**	**9**	**36**	**12**	**6**	**4**	**1**	**2**
JCHO熊本総合病院	陸路	6	12	19	6	0	1	1	1
	ヘリ	10	5	2	0	0	0	0	0
	合計	**16**	**17**	**21**	**6**	**0**	**1**	**1**	**1**
八代北部地域医療センター	陸路	4	3	7	4	3	0	2	0
	ヘリ	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	**4**	**3**	**7**	**4**	**3**	**0**	**2**	**0**
その他	陸路	0	0	0	2	0	0	0	0
	ヘリ	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	**0**	**0**	**0**	**2**	**0**	**0**	**0**	**0**
八代更生病院	陸路	0	14	106	0	0	0	0	0
	ヘリ	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	**0**	**14**	**106**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
総合計	**陸路**	**10**	**38**	**161**	**18**	**7**	**3**	**4**	**3**
	ヘリ	**10**	**5**	**9**	**6**	**2**	**2**	**0**	**0**
	合計	**20**	**43**	**170**	**24**	**9**	**5**	**4**	**3**



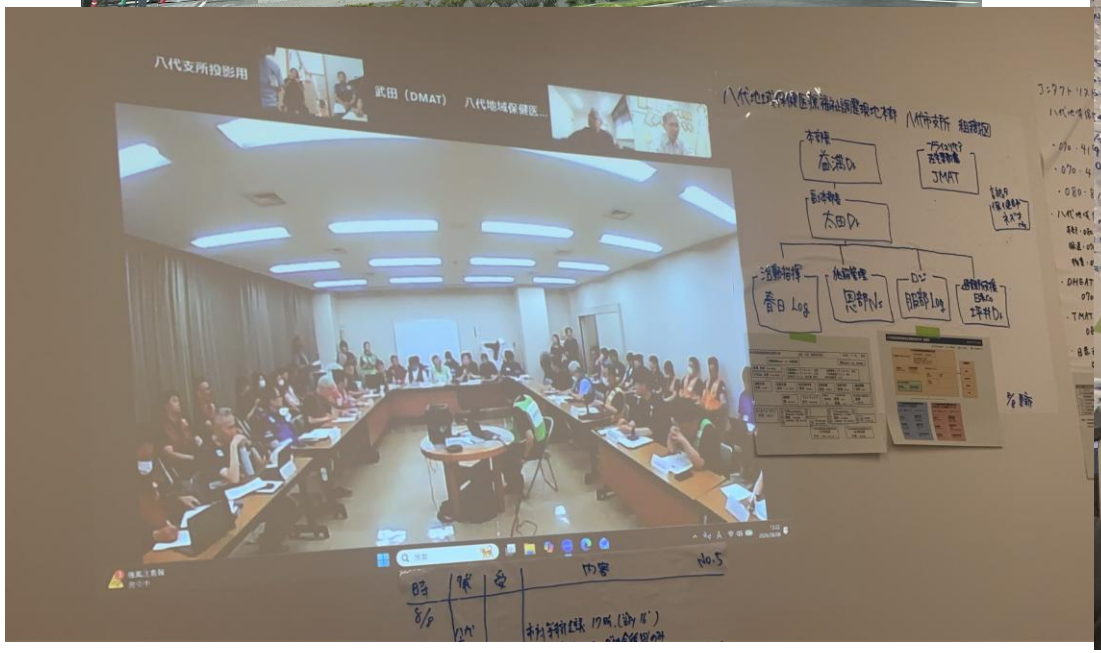
CSCA (Command)
八代地区保健医療福祉本部

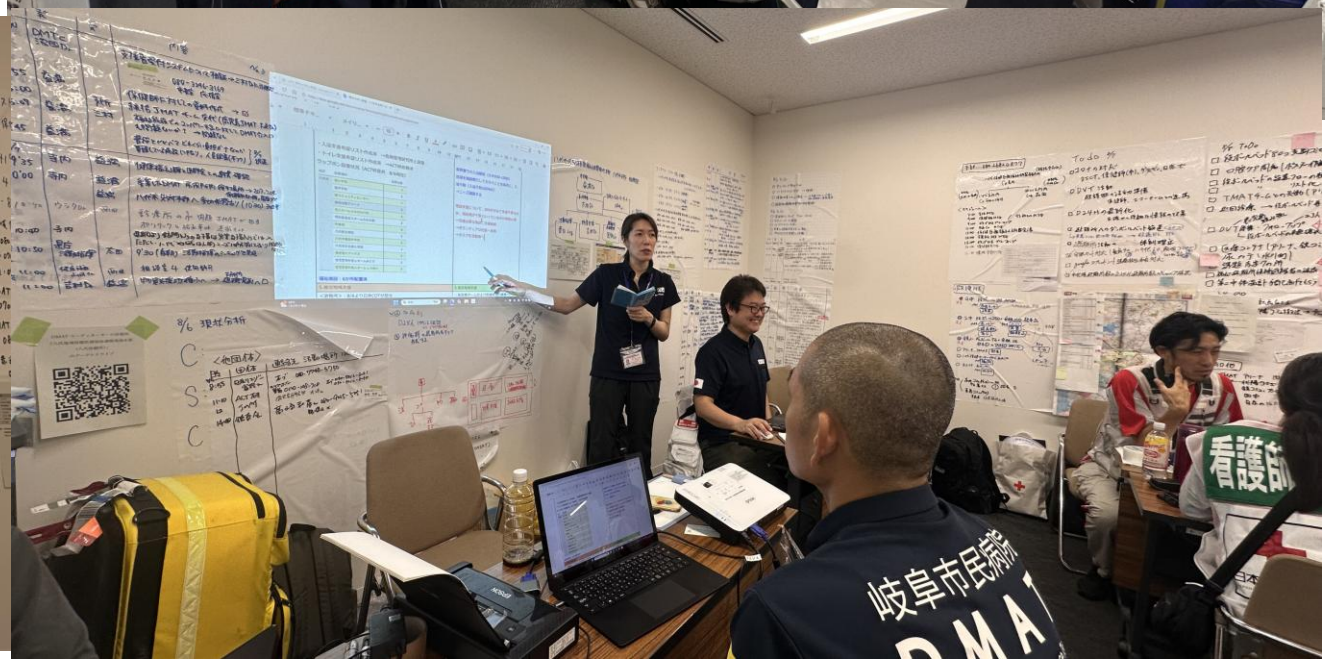


活動内容２:八代支所（八代市役所）8/6 PM～





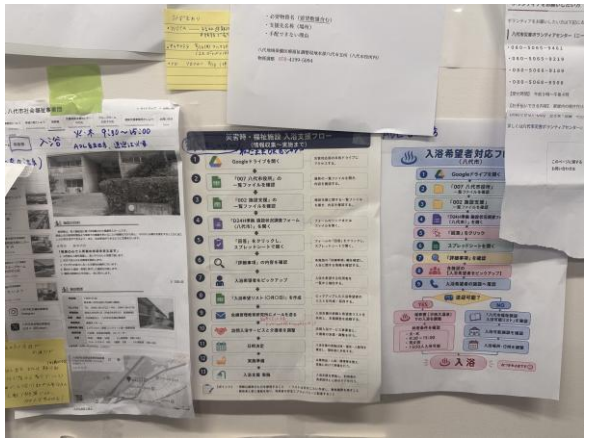




水まわり大臣

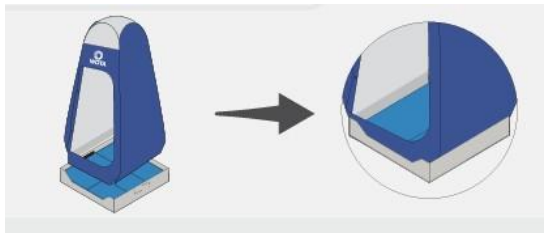
＜八代支所＞
避難所：日赤DMAT
診療所：医師会ーJMAT
福祉施設・福祉避難所：市役所、保健所
断水が続き、水汲み要員が枯渇
ポリバケツが足りない
物資支援：市の物流システム
福祉施設も依頼をかけ取りに行く
配送手段と人員不足

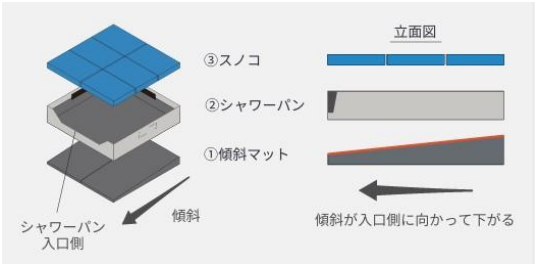
＊WOTA：福祉避難所に１２台無償設置
→使用方法の資料作成、説明
入浴支援を希望している施設、入所者の数、要介護比で優性順位を決定し県に提出、設置依頼
＊お風呂のフロー
→送迎可能な施設は入浴施設のフロー
→送迎できない施設は、訪問入浴業者の手配















水まわり大臣

＊物資供給所に大量のウォーターボトルが積まれているが
使用されていない。放置された状態。
→アリーナーに視察
ボトルはアクアクララ

＊アクアクララ
→ウォーターサーバー５台、コック３０個手配
サーバー２台は市役所職員用（支援者支援）住民用３台
コックは生活用水の井戸水汲み取り要員を希望している施設へ







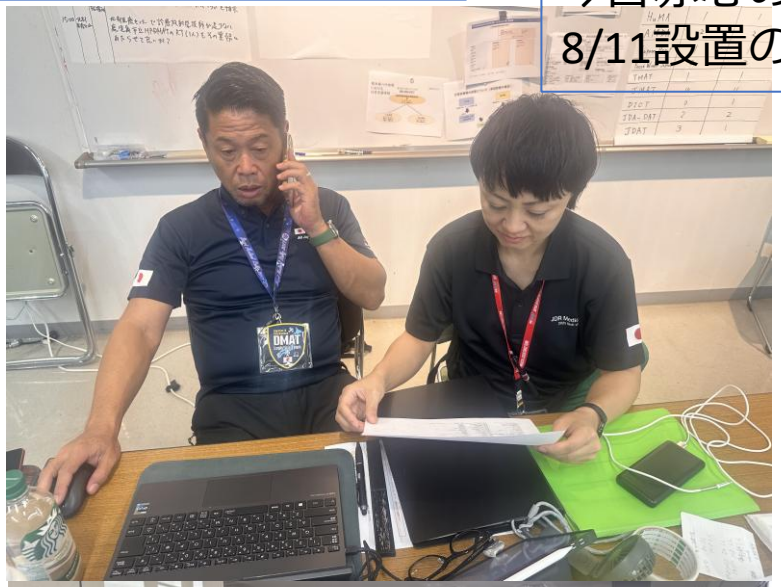


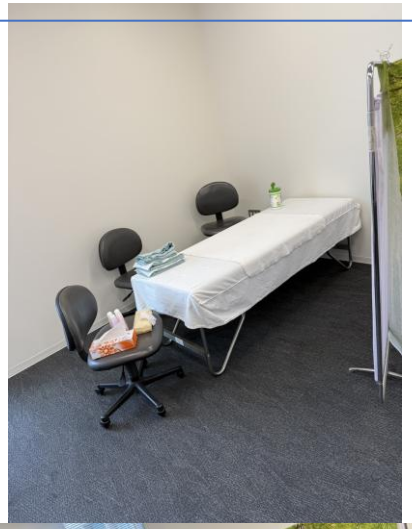


8/9
水まわり大臣業務の引き継ぎ（八代市役所）
八代地区保健医療福祉本部要員としての報告、引き継ぎ（八代保健所）

市役所職員の疲労疲弊
→支援者支援
リラックスできる休める場所
囲いのある場所、ウォーターサーバー設置
→日赤心のケアチームが介入（岡山チーム！）
8/11設置の報告を頂きました

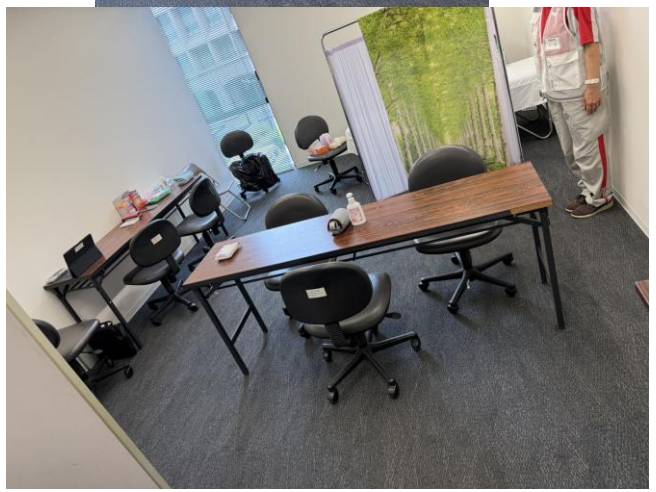












課題・反省点

・コーディネーター派遣は単独であり、活動中や移動で手に余裕がなく、記録や岡山県の後方支援への報告が後手になってしまった。

・コーディネーターとして帯同者を率いるには責任や負担もあり、
そこまでの配慮をしながらの活動には自信はない。
（帯同者も現地の空気感・現場の影響を受けて自己課題を持ち帰る義務）

